

## 福岡市水道水源かん養事業基金 第17回運営委員会 議事録(要旨)

- 1 開催日時：平成23年8月17日（水）13：30～15：00
- 2 開催場所：水道局本館6階 局議室
- 3 委員数：10名
- 4 出席者：10名
- 5 議事
  - I. 基金概要について
  - II. 平成22年度事業について
  - III. 平成23年度事業について
  - IV. 平成24年度事業計画（案）について

- 議事I 基金概要について
- 議事II 平成22年度事業について
- 議事III 平成23年度事業について …事務局説明

### 【質問・意見】

委員：南畑ダム付近の親水公園（「なかのしま公園」）は、土日は必ず20代30代のお父さん、お母さんと子供達が集まるので、そういう所でイベントをしたら、子供の教育にもなるのではないかな。

副委員長：室見川付近も、子ども達が泳いでいる。福岡は水辺が多いところなので、そういうイベントは、いいのかもしれない。

委員長：林道が整備されて作業環境がよくなったという話があるが、これはずっと行き止まりで、また戻ってこれるのか？

事務局：飯場線については、野河内の林道に通って前原方面まで抜けることができる。水道局が作っている作業道の構造は、一般の通行ができるような構造にはなっていない。

委員：交流事業に高齢者の参加者が多いが、同じ人が参加しているようだ。多くの幅広い範囲の人が参加するような方法を考えないといけないと思うが。

事務局：応募者多数の場合は抽選で決めているので、年齢制限や何度も来られている方を外すことはできない。

委員：グループでの申し込みでは、どうなるのか？

事務局：グループで申し込まれた方は、ひとつとして抽選している。

- 議事IV 平成24年度事業計画（案）について …事務局説明

### 【質問・意見】

委員：造林はどんな木を植えているのか？

事務局：広葉樹を水源かん養林として植えている。

委員：水源かん養林なんかは、広葉樹主体に植えていただきたい。管理は大変か？

事務局：針葉樹より大変ではない。

委員：吉野ヶ里町の交流は、どういうきっかけで交流事業になったのか？

事務局：五ヶ山ダムの建設中に福岡市と交流事業を行いたいと、以前から協議を進めており、今年春に企画したら、希望者が多く好評だった。

委員長：大学生にも関心を持ってもらうための方策として、河川ごとに近隣の大学に働きかけて、研究とか学習活動のフィールドの場として、森林とか河川を使いませんかとか、何でもいから役立つことをやってくれとすると学生が喜んでくれるのではないかと。

副委員長：消防局や保健福祉関係でも大学が入って研究したりしている。意外とすそ野が広がってくる感じがあるし、大学に働きかけて研究をしてもらってもいいのでは。

室見川や瑞梅寺ダム付近、吉野ヶ里町の道の駅等、いろんなテーマの取り方で、学生に働きかけながら企画してもらおうというのも面白い。

事務局：企画段階から大学生も知恵を出して一緒にやっていけるという雰囲気が出たらよい。是非とも検討したい。

委員：小学生、中学生を集める場合でも、地域の育成会もいいかもしれないが、教育委員会とかを小学校・中学校を通じて、集めるほうがいろんな人を集められるのではないかと。

事務局：小学校は4年生時に「水とわたしたち」を配布し、浄水場の見学会をする。そのパンフレットの中に、筑後川から3分の1もらっていると、水源林の大切さをうたってはいるが、水ができる仕組みまで、そこまで教育ができていないかもしれない。浄水場の見学時に少しずつ伝えられればと思う。

委員：特に水源地域は、福岡市から来てもらうのが一番嬉しい。交流の輪というか、水源地の交流や、集客につながるもの等、いいアイデアを出してほしい。

委員：水源かん養林の整備においても間伐材の利用を考えてほしい。

事務局：作業道の整備に伴い搬出も容易になるため、利用間伐の方向性でシステム作りを検討している。間伐して処分、利用することによる収入の取り扱いをどうするかを協議中。環境保全と災害防止のためにも、利用間伐の推進を図っていきたい。

委員：10数年前、ある会社が間伐材を利用できないかということで、遊び感覚で素人がやれる「ログハウス」のキットを作っている。ノウハウはデータがあるので、何かあれば協力する。

事務局：現在、ボランティアや水道局で間伐をして、持ち出しやすい所にあるものは、遊歩道作りや、ちょっと休憩するベンチを作るのに活用している。今後、国産材の利用率を上げるといふ国の方針が出されているので、水源かん養林の機能を果たしつつ、材も出せるという方向がとれれば好ましい。農林水産局の知恵を拝借してやっていきたい。

委員：福岡森林インストラクター会という組織があるので、協力も得ながら取り組んでいくのもいいのではないかと。

事務局：審議いただいた内容を踏まえて、取り組んでいきたい。